

# 山万ユーカリが丘線 安全報告書

【 2012年 】



 **山万株式会社**

## 2012年 山万ユーカリが丘線 安全報告書

### 1. 2012年山万ユーカリが丘線安全報告書発行にあたり

日頃「山万ユーカリが丘線」をご利用いただき誠にありがとうございます。また、「山万ユーカリが丘線」の運営に際し、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「山万ユーカリが丘線」は昨年11月に開業30年を迎えました。1982年11月2日第一期「ユーカリが丘駅から中学校駅」間の折り返しとして開業し、翌年9月22日には第二期「中学校駅から公園駅」間が開業し現在の運行となりました。

この間、大きな運転事故もなく現在に至りましたことは、所轄監督官庁、関係各所並びに当線ご利用の皆様のご理解・ご支援の賜物と深く感謝し、この場をおかりし厚く御礼申し上げます。

当社は「安心・安全と健康・福祉」をキーワードとしてユーカリが丘の街づくりを推進しておりますことは皆様には周知のことと存じます。その中におきましても「山万ユーカリが丘線」は「安心・安全」を基本コンセプトとして「誰からも愛されるユーカリが丘線をめざして」のスローガンを実現すべく、鉄道事業を推進しております。

「安全の確保」は鉄道輸送の根幹を成すものであり、かつ、ご利用頂くお客様への第一のサービスであると考え、日々努力を致しております。

昨年11月には開業30年を迎えるにあたり当線中学校駅隣接地への子育て支援施設の整備、ユーカリが丘駅のバリアフリー化設備（E V設置及び内方線付き誘導ブロックの整備）等整備事業を国並びに自治体のご支援のもとに整備を完了できました。このことは子育て世代の皆様、高齢者や移動制約者の皆様がより当線を利用しやすくなるものと考えております。

この安全報告書は、鉄道事業法に基づく2012年における「山万ユーカリが丘線」の輸送の安全確保に関する取組みをまとめたもので、「山万ユーカリが丘線」をご利用いただく皆様方に当線の安全確保に対する取組みを広くご理解いただきたいと思います。

又、お寄せいただきますご意見・ご要望等を今後の「山万ユーカリが丘線」の安全管理の取組みに役立たせてまいります。今後とも「山万ユーカリが丘線」へのご理解・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

2013年3月1日

山万株式会社  
代表取締役 嶋田 哲夫

## 2. 安全に関する基本方針と目標

当社が開発を進めるユーカリが丘ニュータウンは、現在に至るまで快適環境の創造を目指し、常に新しい試みにチャレンジする姿勢をもって取り組んでおり、又「山万ユーカリが丘線」は、ユーカリが丘ニュータウンに欠くことのできない公共交通機関として通勤、通学、お買い物等に広く皆様にご利用いただいております。

当社と致しましても、公共交通機関としての使命であります安全、快適かつ正確な輸送を推進すべく日々努力しておるところあり、安全の確保はご利用の皆様への最大のサービスであると考え、最大限の努力を惜しむことなくお客様の立場に立ったサービスの提供とその向上に今後も社員一同努めてまいり所存でございます。

### (1) 安全に関する基本方針

当社では鉄道事業法の改正の伴い、安全管理の体制、方法等を定めた安全管理規程を平成18年10月に制定し、国へ届出しております。この安全管理規程におきまして「安全に関する基本方針」を定め、社長、役員及び社員等の安全に係わる行動規範を次のとおり定めております。

- ①協力一致して輸送の安全確保に努めること。
- ②輸送の安全確保に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを順守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めること。
- ④職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努めるとともに、疑義のある時には最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥情報の漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

### (2) 安全に関する目標

2012年における安全に係わる目標は以下のとおりでした。

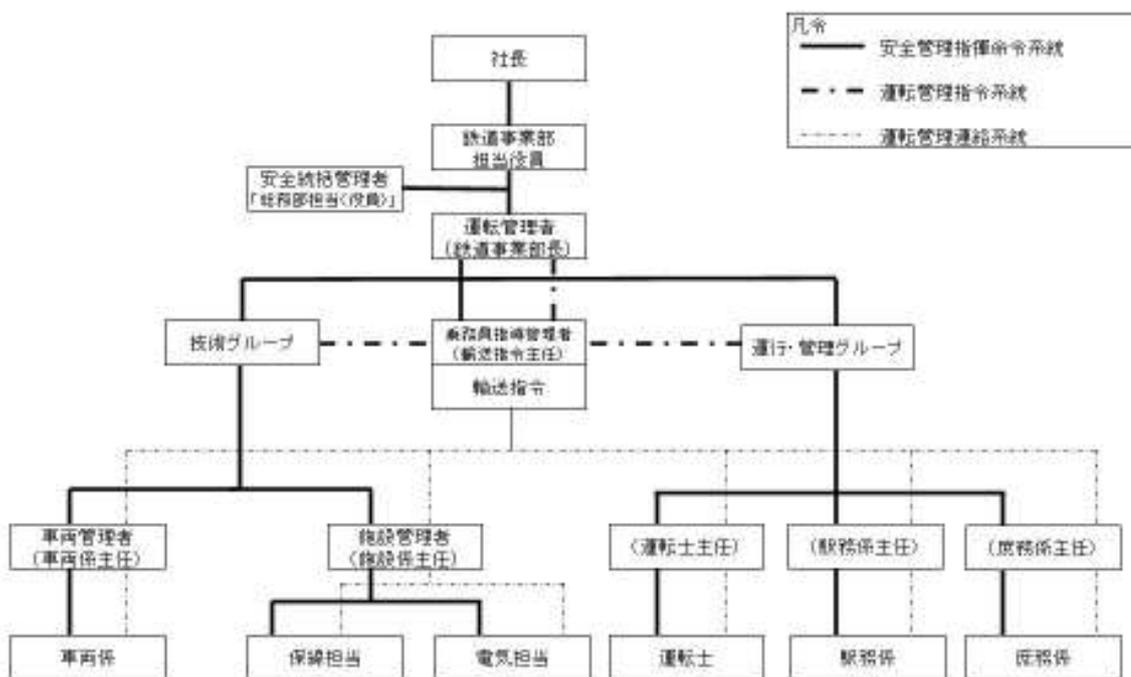
- ①運転事故ゼロを継続する。
- ②輸送障害ゼロを目指す。
- ③ヒューマンエラーによるインシデントゼロを目指す。

2012年におきまして運転事故、インシデントにつきましては発生しておらず運転事故ゼロを継続しております。

輸送障害においては2件（雪害及び停電によるもの）発生しております。

引続き運転事故ゼロの継続、インシデント発生ゼロを目指し全社一丸となって取り組んでまいります。

### 3. 安全管理体制



山万ユーカリが丘線 安全管理体制図

当社では、上記に示します安全管理体制を構築し、「山万ユーカリが丘線」の安全の確保に取り組んでおります。

なお、「山万ユーカリが丘線」の安全管理体制は、鉄道全体会議【定例会議：毎月第三金曜日開催】におきまして、安全統括管理者のもと「山万ユーカリが丘線」の安全管理体制が適切に管理・運営がなされているかを確認し安全の確保に努めております。

又、その結果を踏まえて安全管理体制の見直し・改善を実施することとして安全管理体制の維持・向上を図っております。

### 4. 安全管理体制に係る各管理者の役割

「山万ユーカリが丘線」の安全管理体制は経営トップである当社社長をトップとして鉄道事業部担当役員【安全統括管理者】、運転管理者【鉄道事業部長】、乗務員指導管理者、施設管理者及び車両管理者等をもって「山万ユーカリが丘線安全管理体制」を構築し運用しております。各管理者の役割は以下の通りです。

管 理 者	役 割
社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を有する。
安全統括管理者 (鉄道事業部担当役員)	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者 (鉄道事業部部長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を管理する。

管 理 者	役 割
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、動力車操縦者の資質保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を管理する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を管理する。

## 5. 2012年 運転事故、輸送障害及びインシデントに関する報告

2012年における運転事故、輸送障害及びインシデントに関しては以下のとおりです。

種 別	件数	備 考
運転事故	0件	—
輸送障害	2件	2月17日 g-3 雪害 12月19日 f-7 その他
インシデント	0件	—

### (1) 運転事故

運転事故の発生はありません。

### (2) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

輸送障害：2件

#### 【詳細：1 雪害】

2月17日（金）前日夜半からの降雪より走行路面の凍結により走行タイヤの空転及び負集電器摺り板の浮き等により通電不良による停電状態等により上り3本、下り3本、計6本の列車を運休とした。

第47列車ユーカリが丘駅発9時11分より正常運行を行う。

#### 【詳細：2 停電】

12月19日（木）17時48分頃、佐倉市、八千代市及び八街市の一部地域において東京電力（株）の停電があり上り3本、下り3本、計6本の列車を運休とした。

第107列車女子大駅発18時41分より正常運行を行う。

### (3) インシデント（事故につながる兆候）

事故につながるインシデントの発生はありません。

## 6. 2012年 主な安全施策の報告

2012年における主な安全施策につきましては以下に示すとおりです。

### ①施設（土木関係）の整備

- ア. 防風設備（風速計 地区センター駅構内）更新
- イ. 橋りょう（走行桁 ユーカリが丘～公園）補修整備
- ウ. 橋りょう（橋脚 第一期）補修整備中
- エ. 橋りょう（落下防止板 ユーカリが丘駅構内）補修整備

- ホ. 線路設備（分岐器 2 1 号）更新整備中
- カ. 線路設備（吊架線 公園駅）補修整備
- キ. ユーカリが丘駅階段部（滑り止め）補修整備
- ク. 軌道設備定期検査

②施設（電気関係）の整備

- ア. 運転保安設備の定期検査
- イ. き電変電所の定期検査
- ウ. 保安防具定期検査

③車両の整備

- ア. 車両（第一編成定期検査）施工
- イ. 車両（第一編成案内輪軸オーバーホール）施工
- ウ. 車両（第一編成走行軸オーバーホール）施工
- エ. 車両（ブレーキ制御装置基板）更新整備
- オ. 車両（座席シート）更新

④その他

- ア. ユーカリが丘駅バリアフリー化設備等整備事業
  - エレベータ 1 基設置
  - 警告・誘導ブロック設置
  - ユーカリが丘駅務室改装
  - 自動改札機配置変更等
- イ. 中学校駅隣接地における子育て支援施設の整備事業
  - 認可保育施設【みやのもりハローキッズ（定員：60名）】の整備
- ウ. 公園駅構内における子育て支援施設の整備事業（準備中）
  - 無認可保育施設【（仮称）マイキッズ2（定員：30名）】の整備
- エ. 各種運動期間中における、「警戒」腕章を着用しての巡回点検を強化
- オ. 新キャラクター（ココ・ララ）の車両等へのラッピング整備

## 7. 2013年 主な安全施策の計画

2013年における主な安全施策については以下のとおり計画しております。

- ①落下防護網補修整備
  - ア. 公園駅
- ②鋼桁等補修塗装
  - ア. 鋼桁部等の補修塗装工事（第一期）
- ③橋脚部の補修整備
  - ア. 橋脚部補修整備（第二期）
- ④分岐器設備の更新整備
  - ア. 分岐器 2 2 号更新整備（女子大駅構内）
- ⑤防災設備更新整備
  - ア. 風速計更新（公園駅構内）
  - イ. 地震計更新検討（公園駅構内）
- ⑥各種検査施工
  - ア. き電変電所の定期検査
  - イ. き電変電所蓄電池設備更新
  - ウ. 軌道設備定期検査

- エ. 車両の定期検査及びハブ部の磁粉探傷検査
- オ. 運転保安設備の定期検査
- ⑦新システムの検討
  - ア. 車両更新の検討
  - イ. システムの検討

## 8. 安全輸送を確保するための取組状況

### (1) 安全を確保するための研修等

安全を確保するため当線全職員を対象にした安全に係る規程類の再教育研修を実施する。

- ア. 新型インフルエンザに係る事業継続計画
  - イ. 異常時訓練資料の見直しによる再教育
  - ウ. 規定類の見直し（運転取扱実施基準、電気設備実施基準の改正）による再教育
  - エ. 防犯カメラ設置に伴う取扱いマニュアルの整備
- 等の再教育を実施する。

### (2) 教育訓練

内部研修：

- ア. 冬季における雪害等に係る机上・実車訓練
- イ. 駅務機器取扱講習
- ウ. 接客マナー講習

等を定期的又は臨時的に開催しております。

外部研修：

- ア. 普通救命講習（7月）
- イ. 特殊鉄道に係る協議会（12月）

今後につきましても、車両故障、運転事故、輸送障害等によりご利用の皆様方にご迷惑をお掛けすることのないよう安全教育を含め各種教育等の充実を図ってまいります。

### (3) 異常時訓練（毎年7月実施）

列車による運転事故等を想定した各係合同による訓練（異常時訓練）を7月20日（金）当線女子大駅隣接の車両基地構内等において実施しました。

訓練内容は

- ア. 車両からの避難・誘導、
- イ. 手旗による車両の誘導、
- ウ. 発炎筒の取扱
- エ. 分岐器故障時における分岐器の手廻し訓練等を実施する。



安全統括管理者による訓示



手旗訓練



車両連結訓練



車両連結訓練（切離し）



出庫点検訓練（下廻り検査）



出庫点検訓練（下廻り検査）



分岐器手回し訓練



発煙筒訓練（準備作業）

#### (4) 安全巡視の実施状況

当社社長をはじめとして鉄道事業部担当役員（安全統括管理者）は定期的並びに春・秋の交通安全運動及び夏期輸送・年末年始の安全総点検等の各種安全運動期間中において当線各職場の巡視を実施しております。各職場における安全管理状況の確認を行い職場の安全確保に努めるとともに、安全の確保の向上に努めております。

又、各種安全運動期間においては沿線の各自治会、幼稚園、小・中学校並びに養護施設等に当該安全運動に係る協力依頼を行い、輸送の安全確保に努めております。

### 9. 安全管理の方法

#### ア. 安全を確保するための会議

鉄道事業部担当役員【安全統括管理者】を委員長として第三金曜日を定例として鉄道全体会議を開催しております。この鉄道全体会議において当線における事故、故障、輸送障害並びにインシデント等の状況を確認しております。

又、他社様の報告に基づく事例を参考として当線における再発防止策に反映させ、当線の安全の確保の向上に努めております。

#### イ. 事故発生時における緊急体制

「山万ユーカリが丘線」は「佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部」との間において平成19年9月、「鉄道災害時における消防機関と鉄道事業者との連携に関する協定書」を締結しております。

この協定書は鉄道事故並びに地震等の自然災害等に備え、緊急時における当線との連携について締結したものであり、この協定書の締結により緊急時における体制がより一層強化されているところであります。

又当社は、当社及び当社関連会社を含め緊急時における「山万グループ災害対策本部」を設置する体制を構築しております。災害時等における緊急時には山万グループ全社をあげて「山万ユーカリが丘線」及びユーカリが丘ニュータウンの災害時の体制強化を順次進めているところです。

### 10. 運輸安全マネジメント評価の実施

第2回 運輸安全マネジメント評価が11月29日（木）地方運輸安全調査官6名により実施され、当線の安全に係わる取り組み状況についての評価を受けました。

第1回が実施されてから3年7カ月が経過しておる中で実施され、

①輸送の安全に関する情報伝達及びコミュニケーションの充実・強化の取組

②重大事故等への対応に関する一連の取組み

について一定の評価を受けました。しかしながら

①経営管理部門を含む内部監査の実施及びその有効性・機能の検証

②内部監査結果等を反映させた総括的な安全管理体制の見直しの仕組みの構築

について更なる取り組みを講じるよう評価を受けました。

以上の評価結果を受け一定の評価いただいたものについてはより一層向上させるよう取り

組みを進めるものとし、改善の取り組み評価を受けたものについては早期改善を進めるものとして安全管理体制の向上を計り、列車運行の安全確保の向上を今後も進めて行くものと致します。

#### 1 1. ご利用のお客様へのお願い

「山万ユーカリが丘線」のご利用に際し、駆け込み乗車等の危険な行為につきましては、各種安全運動期間中における駅掲示ポスター、駅案内放送並びに車内放送等におきまして、機会のあるごとに無理なご乗車をなさいませぬよう協力をお願いしております。今後とも列車の安全運行にご協力をお願いいたします。

#### お問い合わせ等

「山万ユーカリが丘線」は地方鉄道業会計規則の例外取扱い許可を受け、事業年度の始期を1月1日としております。

この安全報告書の対象期間は、2012年1月1日から2012年12月31日までを対象期間として作成しております。

尚、この安全報告書並びに「山万ユーカリが丘線」の安全への取組等に関しますご意見等につきましては下記までお願い致します。

山万株式会社 鉄道事業部

住 所：千葉県佐倉市ユーカリが丘6-5-5

山万ユーカリが丘線公園駅駅務本部

T E L：043-487-5036 9時から17時

F A X：043-487-8134

E-mail：[rail@yamaman.co.jp](mailto:rail@yamaman.co.jp)

未来の見える街  
ユーカリが丘



山万株式会社